

Flags

自動認識の世界をより身近に

vol.117 2015
2月号

IC カード社員証を活用した 『勤怠・入退室管理ソリューションの紹介』

IC カードによる入退室管理システムは、情報漏洩などのセキュリティ強化に加え、勤怠管理や経費精算、賃金請求業務などの自動化、労務管理の精度向上、勤務中の不正防止等の目的などで導入が拡大しています。システム導入のすそ野は、一般のマンションやホテルのキーロック、工場・オフィスの入退室管理、学校・幼稚園などの生徒の動静管理など、あらゆる生活場面にも広がり、活用の多様化が始まっています。

今号ではこれらの個人認証で利用が拡大している IC カードソリューションを紹介します。



MTR-230N

NFC 対応タッチパネル端末

Windows Embedded CE 6.0 R3 を採用したコンパクトで使いやすい多機能タッチパネル端末。NFC IP-2 対応リーダライタ一体型端末 (MTR-230N) としてもご利用いただけます。その他用途に応じて各種オプション選択が可能です (OS は Linux も選択可能)。堅牢設計のスチールボディに産業用途の豊富なインターフェースを備えています。

タイムカードの IC カード化

タイムカードは、労働者にとっては、自分の勤務時間証明で、残業や休日出勤など給与や賞与に直接反映する出退勤情報の提供のための重要なツールで、今日でも多くの職場で利用されています。

このお馴染みの電気式タイムカードのルーツをたどると、1931 年に日本人の発明により生まれ、給与体系が複雑化していくにつれ、賃金計算に便利な打刻式タイムレコーダーの需要は、瞬く間に世界中へ広がっていきました。

初期の打刻式タイムカードは、時刻が記載された出勤簿と同じで、毎月管理部門が全従業員のタイムカードを物理的に回収して、上位(勘定、生産管理)システムに入力しなければならず、締日には非常に大きな負担となっているのです。

× 打刻式タイムカード運用での問題点 ×

「従業員全員のタイムカードを期日までに集めるのが大変!」
「全従業員の勤務時間の集計が大変!」
「給与システムへの再入力が大変!」
「勤怠管理業務が月末に集中して大変!」
「今月の人件費の累計が不明で資金繰りが大変!」
「アルバイトやパートさんは、現場にそろっているかの状況確認や労務管理が大変!」
「容易な代理刻印で評価管理が大変!」
等々

そこで、近年では打刻式のタイムカードを IC カード社員証に切替え、IC カード対応タイムレコーダーを導入する企業様が増加しています。

これにより出退勤情報は自動で収集できるだけでなく、外出、帰社、遅刻・早



非接触 IC 社員証

退の理由入力などの記録も収集できます。さらに、工場で要望の多い“お弁当の注文登録機能”を利用すると、日々のオーダーが自動で集計でき、月末には従業員毎の食事代明細までが出力可能と

1 従業員(各種IC媒体)登録

ユーティリティで従業員No、従業員名、企業コード、支店コード等を入力しIC情報を登録します。入力したデータをタイムレコーダー本体へ登録することで登録したICがタイムカードになります。毎月新しいタイムカードを用意する必要はありません。



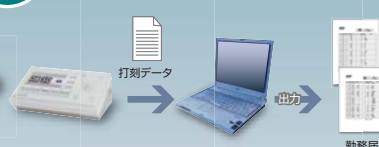
2 打刻

打刻漏れや打刻ミスを防ぐアラート機能



携帯電話、PASMOなど各種ICに対応

3 出力



タイムレコーダーのデータを利用して勤務届を出力可能
また勤務届はExcel形式なので既存システムへのデータ転用も容易

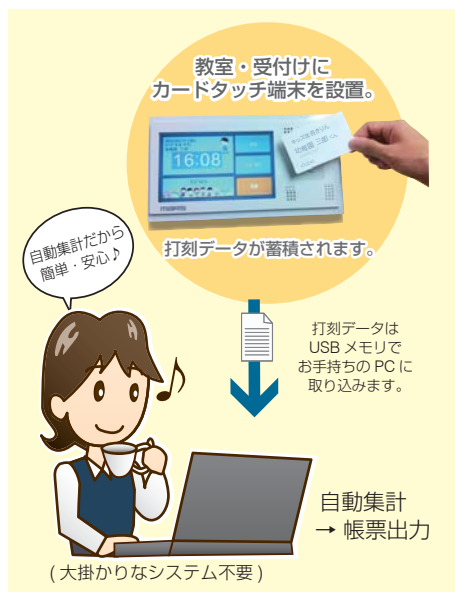
なっています。

ある物流倉庫様では、個人所有のIC付携帯電話や交通系カード(Suica)などを、ICカード社員証の代わりに利用している例もあります。

また、クレジット機能付きのIC社員証により、社員食堂の代金精算を賄うものまで出てきています。

園児管理で注目されているICカー

複雑と言われる企業の勤務シフト管理と同様に、保育園の情報管理も日常的に、面倒で複雑な業務が要求されています。



園児の登降園の時間は、各家庭の事情や園児の体調によりバラバラで、延長保育、バス利用の有無、おやつの有無など、多岐にわたって管理しなければならない情報が山積みされています。

月末には、園児それぞれが利用した時間やサービスの請求計算や自治体への業務実態報告など、人手により集計している保育園が未だに多く、保育士の方々は夜遅くまで過酷な現場で苦労されているのが現状です。

さらに、今年4月から「子ども・子育て関連三法」が施行され、幼稚園と保育園の財政処置が一本化となるため、市場における自由競争の加速や、業務実態集計が複雑化する上に、保育時間も長くなる事が想定されており、業務の効率化が急務となっています。

効率化対策の一つとして、注目されているのがICカードによる『園児管理システム』で、今期は、当社の製品出荷台数も大きく増加することが見込まれています。

広がる個人認証管理

加工食品工場で、従業員の故意または過失による異物混入事件は、食の安全を信じる消費者にとっては、大きな衝撃を与えるニュースとなりました。

この事件・事故をきっかけに、作業

員や従業員の入退場管理や立入制限区域の管理など、厳重な個人認証管理の要請がさらに大きな広がりを見せています。

私鉄大手の小田急電鉄様や東京急行電鉄様は、自動改札で入退場を行うとメールを配信するサービスを導入しており、家庭から学校、習い事などで改札の通過情報が確認できるセキュリティサービスが展開されており、ICカードによる個人認証は、ますます身近な時代になってきています。

最後に

今号では、個人認証を中心に、ICカード活用事例における勤怠・入退室管理ソリューションを紹介しました。

工場や倉庫の現場では、ICカード社員証でそのまま「製造実績収集システム」へ活用したり、社員食堂での「食券天引きシステム」などにも利用するなど、一枚のカードで多様な使い方が浸透してきています。

ICカードを利用したシステムは、当社の標準パッケージを活用すれば、安価で簡単で、迅速に導入実現が可能です。

当社は、様々なICカードを活用した事例をご用意しておりますので、ご関心・ご用命などございましたら、当社営業担当まで、お気軽にお問合せください。

次号予告

2015年3月号は・・・

『作業実績収集システム導入事例』
についてです。

Flags 3月号は 3月6日発行です。

都合により内容が変更になる場合がありますので、予めご了承下さい。
バックナンバーは弊社ホームページに掲載しております。

Flags/フラグス

2015年2月号 Vol.117 2015年2月6日発行

編集・発行 株式会社マーストーンソリューション

編集事務局:03(3352)8545

無料招待券は当社営業担当まで

AUTOID & COMMUNICATION EXPO OSAKA

自動認識総合展 大阪

会期:2015年2月19日[水]~20日[木]

10:00~17:00

会場:マイドームおおさか1階展示場

当社ブース番号:20



RFD5500

今年も関西で唯一の自動認識総合展に出展いたします。
各種スキャナ等を展示して、ご来場をお待ちしています。

詳細のお問合せ:06-6353-5476



本誌に掲載の記事・写真・図版などは著作権法によって保護されており、無断で転用・転載・複製することはできません。

本 社	東京都新宿区新宿1-8-5	新宿御苑室町ビル
	Tel:03(3352)8522	Fax:03(3352)8579
日立営業所	Tel:029(276)9555	Fax:029(276)9556
名古屋営業所	Tel:052(565)9091	Fax:052(565)9094
大阪営業所	Tel:06(6353)5476	Fax:06(6353)6125
福岡営業所	Tel:092(441)3638	Fax:092(441)3639